

お札に登場した動物にはどんなものがあります

銀 行券のデザインには、肖像のほか、動物や風景が採用されることが少なくありません。

1 885年（明治18年）に最初の日本銀行券（旧十円券）が発行されて以来、日本銀行券には8種類の動物が登場しています。まず、通称「大黒札」と呼ばれている「旧十円券」などにねずみが、「改造十円券」（1890年＜明治23年＞）および「甲十円券」（1899年＜同32年＞）に猪が描かれています。表に猪が描かれている「改造十円券」は通称「表猪」、裏に猪が描かれている「甲十円券」は「裏猪」と呼ばれています（P 10 参照）。また、「い五銭券」（1944年

＜昭和19年＞）に馬、「A一円券」（1946年＜同21年＞）にニワトリ、「A十銭券」（1947年＜同22年＞）に鳩、「C五千円券」（1957年＜同32年＞）にライオンが描かれています。そして、1984年（昭和59年）に発行された「D一万円券」には国鳥である雉が、「D千円券」には特別天然記念物に指定されている丹頂鶴が描かれています。

な お、このほか、鳳凰（古来瑞兆として尊ばれる想像上の鳥）が何回か登場しており、現行の一万円券には平等院に据えられている鳳凰像が描かれています。



旧十円券（ねずみ）



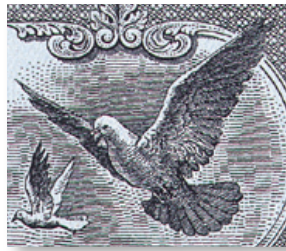
甲十円券（猪）



い五銭券（馬）



A一円券（ニワトリ）



A十銭券（鳩）



C五千円券（ライオン）



D一万円券（雉）



D千円券（丹頂鶴）



ろ十円券（鳳凰）

すか？

ちなみに、1868年（明治元年）から1872年（同5年）にわが国政府が発行した「政府紙幣」には、鳳凰や竜、竜馬といった想像上の動物のほか、孔雀、千鳥、トンボ、貝が描かれています。



明治通宝（表：鳳凰、竜）



同（裏：孔雀、千鳥、トンボ、貝）

また、1938年（昭和13年）、日中戦争の拡大を背景に金属資材が不足し、貨幣の铸造が困難となった際に制定された臨時通貨法に基づき、政府が発

行した五十銭紙幣（1942年〈昭和17年〉）にはトビが描かれています。



民部省札（竜馬）



五十銭紙幣（トビ）